



平成23年11月11日

各 位

|         |                                      |
|---------|--------------------------------------|
| 会 社 名   | 古河電池株式会社                             |
| 代表者名    | 代表取締役 内海勝彦                           |
| (コード番号) | 6937)                                |
| 問合せ先    | 取締役常務執行役員 古沢啓司<br>TEL (045) 336-5034 |

(訂正)  
「平成24年3月期第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」  
の一部訂正について

平成23年11月4日に発表いたしました「平成24年3月期第2四半期決算短信[日本基準] (連結)」の記載内容につきまして、一部訂正がありましたので、お知らせいたします。なお、訂正部分については次頁以降に下線を付して表示しております。

記

- 【訂正箇所】 2ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報  
(1) 連結経営成績に関する定性的情報

## 【訂正前】

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、サプライチェーンの急速な立て直しによる生産活動の回復が見られたほか、復興や防災等の需要による消費の持ち直しも見られました。しかし、依然として懸念される電力供給問題や米国の経済不安に伴う円高進行及び欧州の財政不安、加えてタイ国における洪水被害の影響など先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比745百万円(3.8%)減少の19,041百万円となりました。このうち海外売上高は2,862百万円となり、売上高に占める割合は15.0%となりました。

損益面については、試験研究費等の増加がありましたが、海外子会社が好調に推移した結果、営業利益は373百万円、経常利益は433百万円となりました。

また、特別利益として災害損失引当金の戻入額24百万円、特別損失として東日本大震災による修繕費等51百万円を計上し、税金費用を考慮した結果、純利益は138百万円となりました。

## 【訂正後】

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、サプライチェーンの急速な立て直しによる生産活動の回復が見られたほか、復興や防災等の需要による消費の持ち直しも見られました。しかし、依然として懸念される電力供給問題や米国の経済不安に伴う円高進行及び欧州の財政不安、加えてタイ国における洪水被害の影響など先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比745百万円(3.8%)減少の19,041百万円となりました。このうち海外売上高は4,723百万円となり、売上高に占める割合は24.8%となりました。

損益面については、試験研究費等の増加がありましたが、海外子会社が好調に推移した結果、営業利益は373百万円、経常利益は433百万円となりました。

また、特別利益として災害損失引当金の戻入額24百万円、特別損失として東日本大震災による修繕費等51百万円を計上し、税金費用を考慮した結果、純利益は138百万円となりました。

以上